

# BUSINESS REPORT

第79期報告書 2021年4月1日>>>2022年3月31日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

# 私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、  
企業活動を通じて「絆」を結び、  
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。



## ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

## オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行なっています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

## その他事業

樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

## トピックス

### ①新グループ会社「株式会社村上開明堂東日本」紹介

当社は4月1日に株式会社大嶋電機製作所の株式を取得し、「株式会社村上開明堂東日本」として子会社化いたしました。



同社は創業1943年、自動車部品の製造開始1944年と製造業としての歴史も長く、主力製品であるドアミラーおよび自動車用ランプの生産にも豊富な経験と技術力を持った会社です。

今後は、当社グループの新たな一員として、東日本地域を中心とするお客様への製品供給の中核拠点となることが期待されます。

### ②築地工場に太陽光発電設備増設



当社は環境への取り組みの一環として、CO<sub>2</sub>排出量の削減を目的に築地工場の屋上に太陽光発電パネルを増設し、2022年2月1日より稼働を開始いたしました。今回、築地工場の屋上全面を活用して1,936枚の太陽光発電パネルを増設し、既存の発電パネルと合わせて826kW（築地工場使用電力の10.8%）の発電容量となりました。

今後も再生可能エネルギーの利用拡大をはじめ、地球環境に配慮した取り組みに努めてまいります。

# 社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第79期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

## 当期の経営成績

当連結会計年度における世界経済は、各国において新型コロナウイルスの感染再拡大による停滞があったものの、総じて回復基調となりました。一方、経済の再開に伴う急速な需要の回復により、原油、原材料価格の高騰や物流の停滞、半導体の供給不足等サプライチェーンの問題が顕在化し、2021年後半以降は回復に鈍化が見られました。加えて、ロシアのウクライナ侵攻が現実となり世界情勢は不安定化しております。

当社グループの主要取引先である自動車業界においては、堅調な需要を背景に生産の持ち直しが期待されましたが、世界的な半導体不足や東南アジアのロックダウンによる部品供給不足の影響を受けて伸び悩みました。

このような事業環境のもと、当社グループでは、日本国内を中心とする自動車メーカーの減産や、北米での人件費や物流費の高騰の影響を受けながらも、受注変動に柔軟に対応し、各地域のお客様への安定供給を継続すると同時に、コスト圧縮に努め収益確保に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は73,595百万円となりました。

また、営業利益は4,864百万円、経常利益は5,723百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,865百万円となりました。

なお、当連結会計年度の期首より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。これにより、当連結会計年度と比較対象となる前連結会計年度の収益認識基準が異なるため、前連結会計年度と比較しての増減額及び前年同期比（%）を記載せずに説明しております。

期末配当金につきましては、1株につき30円とさせていただきます。この結果、年間配当金は1株につき55円となります。

## 次期の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大が懸念されるものの、ワクチンの普及や行動規制の緩和等により経済活動の制限は限定的に留まると予想されます。一方、ウクライナ情勢や

長期化する米中対立等の地政学的リスクに加え、原材料価格やエネルギーコストの高騰、物流の混乱等により、世界的に不透明な経済環境が続くことが予想されます。

自動車業界においても、半導体などの部品不足及び原材料価格や物流費の高騰が続く、足元の事業環境は厳しさを増しておりますが、2022年度後半にかけては、旺盛な需要に支えられ販売台数の底堅い回復が期待されます。

このような状況の中で、当社グループは、設計開発力・生産技術力の一層強化及び世界最適調達・最適生産の推進、IT技術等の活用による製造部門・間接部門の生産性向上等に取り組み、主力のバックミラー事業、オプトロニクス事業の競争力強化に注力してまいります。また、2022年4月に連結子会社化した株式会社村上開明堂東日本を起点とする同地域の営業強化により、主力事業の収益基盤強化も図ってまいります。

高付加価値新製品の開発、新規事業の創出につきましては、先進運転支援システムに向けた製品開発に注力するとともに、市場性・競争優位性・ビジネスモデルを意識した開発活動と経営資源の効率的な投入で、早期実現を果たし、持続的成長を目指してまいります。

連結業績予想につきましては、バックミラー販売の増加等により、売上高87,000百万円、営業利益は6,000百万円、経常利益は6,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,300百万円を予想しております。為替レートにつきましては、1ドル115円を想定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年6月



代表取締役社長 村上太郎

# グローバルネットワーク

MURAKAMI MANUFACTURING  
INDIA PRIVATE LTD.



株式会社村上開明堂九州  
株式会社村上開明堂化成  
株式会社エイジー  
株式会社村上エキスプレス  
株式会社村上開明堂ビジネスサービス  
株式会社村上開明堂東日本  
(2022年4月1日より子会社化)

Murakami Germany GmbH

アジア

売上構成比  
29%



MURAKAMI AMPAS  
(THAILAND) CO.,LTD.



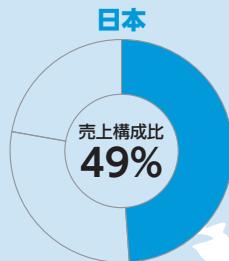
Murakami Manufacturing  
(Thailand) Co.,Ltd.



Murakami Mold  
Engineering (Thailand)  
Co.,Ltd.



Murakami  
Corporation  
(Thailand) Ltd.



本社  
(静岡市)



東京事務所  
(東京都千代田区)



新横浜事務所  
(神奈川県横浜市)



築地工場 (藤枝市)



藤枝工場 (藤枝市)



大井川工場 (藤枝市)



嘉興村上汽车配件有限公司



佛山村上汽车配件有限公司



PT.Murakami Delloyd Indonesia



天津村上汽车配件  
有限公司



Murakami Manufacturing  
U.S.A.Inc.

北米

売上構成比  
22%



Murakami Manufacturing  
Mexico, S.A. de C.V.

## 日本

主力の自動車用バックミラー販売数量は前年並みとなりましたが、収益認識会計基準等の適用により、売上高は35,950百万円となりました。営業利益は、増収効果があったものの、主に人件費、試験研究費の増加等により、1,865百万円となりました。

## アジア

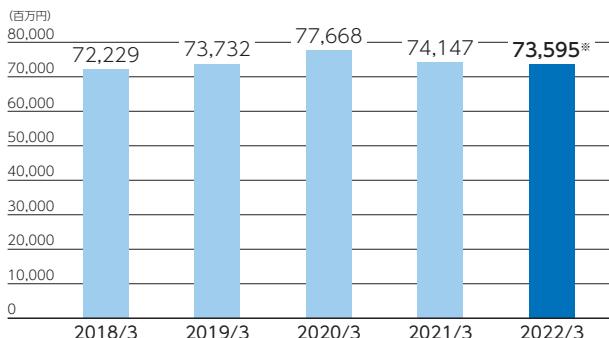
タイ及びインドネシアでの自動車用バックミラーの販売数量が増加した結果、売上高は21,648百万円となり、営業利益は、売上高の増加に伴い2,515百万円となりました。

## 北米

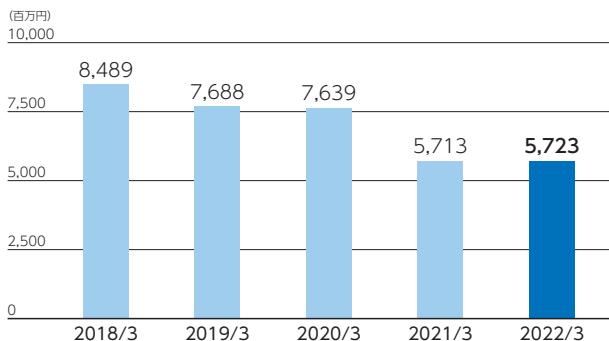
米国及びメキシコにおいて自動車用バックミラーの販売数量が増加した結果、売上高は15,996百万円となりました。営業利益は、新型コロナウイルス感染拡大や物流の停滞等に起因する人件費、物流費の増加等により264百万円となりました。

## 売上高

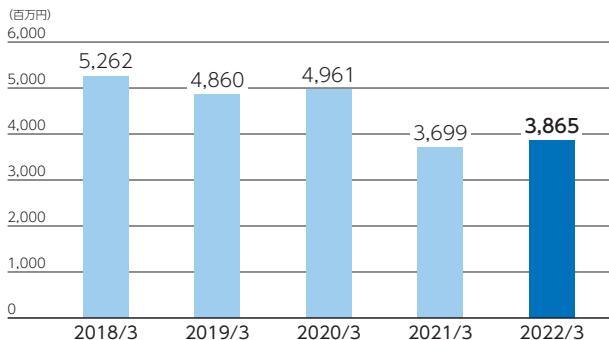
※収益認識に関する会計基準等を適用



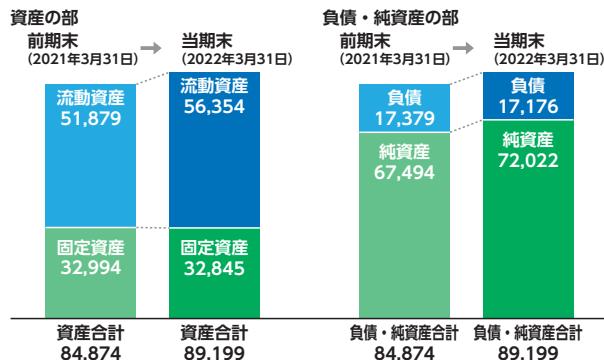
## 経常利益



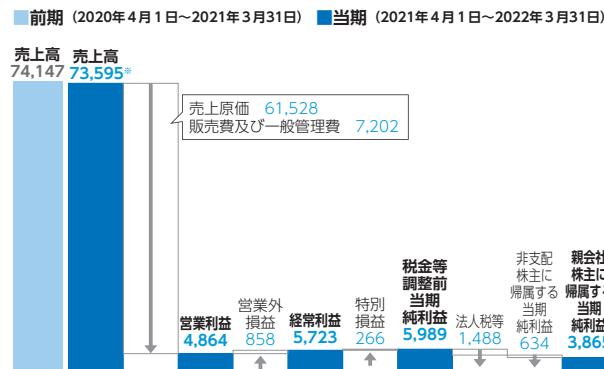
## 親会社株主に帰属する当期純利益



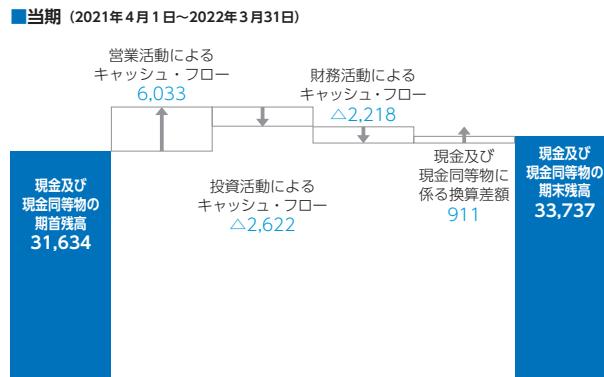
## 連結貸借対照表 (百万円)



## 連結損益計算書 (百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



## 会社概要

商号 株式会社村上開明堂  
 設立 1948年3月27日  
 資本金 3,165,445,000円  
 発行済株式総数 13,100,000株

事業内容 自動車用バックミラー、  
 ファインガラスの製造  
 及び販売  
 従業員数 連結：3,222名  
 単体：943名

## 役員 (2022年6月24日現在)

### 取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎  
 専務取締役 望月 義人  
 専務取締役 奥野 雅  
 常務取締役 長谷川 猛  
 常務取締役 杉澤 達弥  
 取締役 平沢 方秀  
 取締役 服部 有悟  
 ※取締役 岩崎 清一  
 ※取締役 力石 晃一  
 ※取締役 足羽 由美子

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

### 監査役

監査役 (常勤) 増井 邦夫  
 ※監査役 櫻井 透雄  
 ※監査役 興津 哲雄

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### 執行役員

常務執行役員 原田 利恵子  
 常務執行役員 糟谷 篤  
 常務執行役員 松田 裕昭  
 常務執行役員 吉永 晃一  
 常務執行役員 島村 昌宏

執行役員 星野 立法  
 執行役員 増田 達寿  
 執行役員 田中 豊  
 執行役員 青島 祥訓  
 執行役員 小松 徹  
 執行役員 池ヶ谷 義信  
 執行役員 赤山 泰規

## 主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市  
 東京事務所：東京都千代田区  
 新横浜事務所：神奈川県横浜市

築地工場：静岡県藤枝市  
 藤枝工場：静岡県藤枝市  
 大井川工場：静岡県藤枝市

## 関係会社 (2022年4月1日現在)

### 国内

株式会社村上開明堂九州  
 株式会社村上開明堂化成  
 株式会社エイジー  
 株式会社村上エキスプレス  
 株式会社村上開明堂  
 ビジネスサービス  
 株式会社村上開明堂東日本

### 海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.  
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.  
 嘉興村上汽車配件有限公司  
 佛山村上汽車配件有限公司  
 天津村上汽車配件有限公司  
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.  
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.  
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.  
 Murakami Mold Engineering (Thailand)Co.,Ltd.  
 PT.Murakami Delloyd Indonesia  
 MURAKAMI MANUFACTURING INDIA PRIVATE LTD.  
 Murakami Germany GmbH

## 株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株  
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株  
 株主数…………… 1,322名

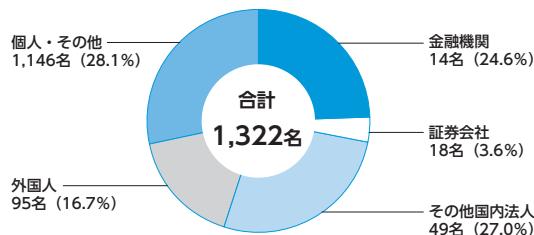
## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	15.0
村上太郎	1,433	11.5
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	801	6.4
株式会社三菱UFJ銀行	624	5.0
AGC株式会社	489	3.9
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.7
株式会社静岡銀行	459	3.7
立花証券株式会社	440	3.5
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.2
明治安田生命保険相互会社	347	2.8

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 出資比率は、自己株式710,985株を控除して計算しております。  
 3. 当社は自己株式710,985株を保有しておりますが、上記「大株主」から除いております。

## 株式分布状況

### <所有者別>



(注) ( ) 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告の方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku">https://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。

## 単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様がご所有の当社単元未満株式（1～99株）につきましては、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

証券会社等に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている 証券会社等	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (0120) 782-031(通話料無料)



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

